

片隅

僕を遠くに運ぶものを
止めないでほしい
貧しさへと
愛しさへと
ああ、どうして

どうやって人間^{ひと}は
微笑むことができるのだろう

僕の眼を吸い寄せるものを
さえぎらないでほしい
みじめさを
切なさを
ああ、どうして
どうやって君は
抱き上げることができるのだろう

陽光の温かさに
そして涼しさに胸をつかれ
君は駆け下っていった
陽光が温めることのできぬ所へと
切なさが君を温め
みじめさが君を微笑ませる
そんな所へと

だが君はまだ知らない
君の哀しみが
哀しみへの愛が
君以外の者から
陽光の温かさを奪い去ることを
この僕を放浪わせることを

(1999.6.16)